

VI-2 目標の分類

学習する項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形の似ている漢字の読みを間違えない。 ・ 文中の語と語の関係を理解する。 ・ 特殊音節の表記ができる。 ・ 和が5までの合成・分解が確実にできる。 ・ 和が10以上になる加算の解法の手順を覚える。 ・ 粘土やタイル、ひも等を使い単位の意味を理解する。 ・ 単位の表記の違いに気付く。 ・ 毎日15分、肩周りや腰回りのリラクゼーションをする。 ・ 毎日5分、立位で左右に重心移動をする。 ・ 文字盤とシンボルでコミュニケーションボードを作成し、使用の練習をする。 ・ マスを使って線の位置や長さを正しく書き写せる。 ・ 調べる内容とまとめる手順を事前に表にしたものを利用し、1人で調べ学習ができる。 ・ 仕切りや棚をつけた道具箱やロッカーに自分の持ち物を整理して片付ける。 ・ 身の回りの準備や後片付けができる範囲で自分でする。
経験する項目・参加する項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤楽器で合奏に参加する。 ・ 行事の計画等で、促されて意見が言える。 ・ 移動の際、目的や場所を介助者に伝える。 ・ 生活全般を通じて、本人の意思を介助者に伝える。 ・ 周囲の事象に関心を向ける。

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--

VI-3 年間指導計画の作成 (長期目標の決定)

学期	1 学期			2 学期			3 学期				
	国	算	養	国	算	養	国	算	養		
学習する項目	似た漢字を正確に読む	国	養	養	文中の語と語の関係理解	国	養	養			
	特殊音節の表記	国	養	養							
	線の位置や長さの視写	国	普	通							
	5までの合成・分解	算	算	養	和が10以上の加算の解法の手順	算	養	養			
	表を利用した調べ学習	総	普	通					単位の意味理解	算	養
	肩、腰回りのリラクゼーション、立位で重心移動	体	運	養					単位の表記の違い	算	養
	コミュニケーションボード使用	全	全	通							
	準備、後片付け	全	普	通							
	整理、整頓	全	普	通							
	経験・参加する項目	鍵盤楽器で合奏に参加	音	音	通						
行事等の計画づくりで意見表明		学	普	通							
移動の目的や場所を意思表示		全	全	通	生活全般を通じて、意思表示	全	全	通			
周囲の事象に関心を向ける		全	全	通							

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--

VI-4 指導プログラムの作成 (短期目標の決定)

1. 学習する項目

長期目標	形の似ている漢字を見分けて正しく読むことができる。
------	---------------------------

目標課題の分析	課題遂行に必要な能力		
	必要な知識	必要なスキル	社会性
線の長さを見分ける ↓ 図形の形を見分ける ↓ 形の大きさを見分ける ↓ 形の向き、位置を見分ける ↓ 数の違いを見分ける ↓ 角度の違いを見分ける ↓ 対称図形を見分ける ↓ 絵や図形の欠けた部分を見分ける ↓ 文字の形の違いに気づく ↓ 文字を正しく読む ↓ 異なる書体でも読める ↓ 文中でも読める	・ 第1学年配当の漢字を読むために必要な語彙	・ 対象を注視できる。 ・ 対象を追視できる。 ・ 頭を固定し、目だけで視線を移動できる。 ・ 線の長さを見分ける ・ 形を見分ける ・ 形の大きさを見分ける ・ 形の向き、位置を見分ける ・ 線の数の違いを見分ける ・ 角度の違いを見分ける ・ 対称図形を見分ける ・ 文字と絵や図形を見分ける ・ 絵や図形の欠けた部分を見分ける	・ 集中して話しを聞くことができる。 ・ 持続して課題に向かえる。 ・ 指示に従って課題を遂行できる。
重点課題 (短期目標) 絵や図形の欠けた部分を見分ける	配慮事項 読みに必要な語を理解しているか確認する。	配慮事項 視線の移動が安定してしやすいうように斜面台(書見台)を利用する	配慮事項 課題への注意を促しながら実施する。

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--

2. 経験・参加する項目

長期目標	移動の際に目的や場所を介助者に伝える
------	--------------------

集団の規模/形態	個別的な配慮	評価ポイント (短期目標)
・ 通常の学級の学習班5名。 ・ 同じ係活動の級友4名。	・ 通常学級担任の援助。 ・ 表出を待つ。 ・ 取り組みの初期には選択肢を用意する。 ・ 音声で正確に伝わらない場合はコミュニケーションボードの利用を促していく。	(1) 次の予定を自分で確認する。 (2) 確認した目的あるいは場所を相手に伝えられる。 (3) 日常的に予定を確認し、目的や場所を伝えられる。 (4) たずねられなくても、自分から依頼ができる。

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--